

財政収支(2026年1～5月)

(1) 1～5月の歳入は前年同期比33.9%増、税収は同32.4%増。歳出は前年同期比37.4%増。
(2) 1～5月の財政収支は1兆569.99億リラの赤字、プライマリーバランスは2,056.43億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2025年1～5月(A)	2026年1～5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	46,891.54	62,777.14	33.9%
税収	40,065.28	53,040.78	32.4%
所得税	9,501.59	12,832.38	35.1%
法人税	5,243.47	8,132.87	55.1%
付加価値税(国内及び輸入)	12,016.87	15,339.69	27.7%
特別消費税	6,790.09	7,508.17	10.6%
その他税収	6,513.26	9,227.67	41.7%
税外収入等	6,826.26	9,736.36	42.6%
歳出(b)	53,394.56	73,347.13	37.4%
人件費	14,702.01	21,040.90	43.1%
物品及びサービスの購入	3,379.41	4,720.41	39.7%
経常移転	20,501.56	26,496.67	29.2%
資本支出	3,487.43	3,532.03	1.3%
支払利子(c)	8,357.65	12,626.42	51.1%
その他歳出	2,966.50	4,930.70	66.2%
財政収支(a-b)	▲ 6,503.02	▲ 10,569.99	▲ 62.5%
基礎的財政収支(a-(b-c))	1,854.63	2,056.43	10.9%

経常収支(2026年1～4月)

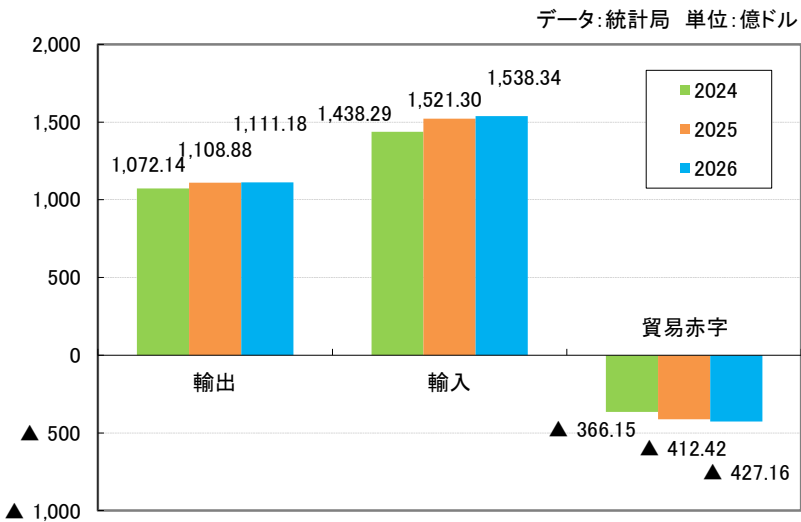
(1) 1～4月の経常収支は、293.72億ドルの赤字(前年同期は225.86億ドルの赤字)。
(2) 1～4月の貿易収支(物品)は306.90億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は100.41億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2025年1～4月(A)	2026年1～4月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 225.86	▲ 293.72	▲ 30.0%
貿易収支(物品)	▲ 257.60	▲ 306.90	▲ 19.1%
サービス収支	119.30	112.41	▲ 5.8%
旅行収支	95.35	100.41	5.3%
第1次所得収支	▲ 84.97	▲ 90.24	▲ 6.2%
第2次所得収支	▲ 2.59	▲ 8.99	▲ 247.1%
労働者送金	0.15	0.16	6.7%
資本移転等収支	0.13	▲ 0.85	▲ 753.8%
金融収支	▲ 305.80	▲ 471.44	▲ 54.2%
直接投資	▲ 4.69	▲ 1.95	58.4%
証券投資	87.77	5.96	▲ 93.2%
その他投資	▲ 23.05	▲ 175.10	▲ 659.7%
外貨準備	▲ 365.83	▲ 300.35	17.9%
誤差脱漏	▲ 80.07	▲ 176.87	▲ 120.9%

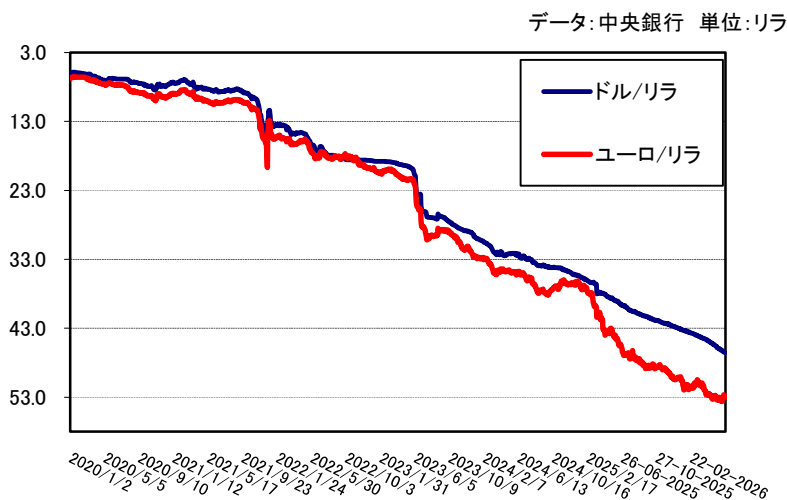
貿易収支(2026年1～5月)

(1) 1～5月の輸出額は1,111.18億ドル(前年同期比0.2%増)、輸入額は1538.34億ドル(同1.1%増)となり、貿易収支は427.16億ドルの赤字(同3.6%赤字幅拡大)。
(2) 1～5月の輸出額におけるEU向けの割合は43.6%(前年同期:43.6%)、輸入額におけるEUからの割合は29.3%(前年同期:31.1%)となっている。



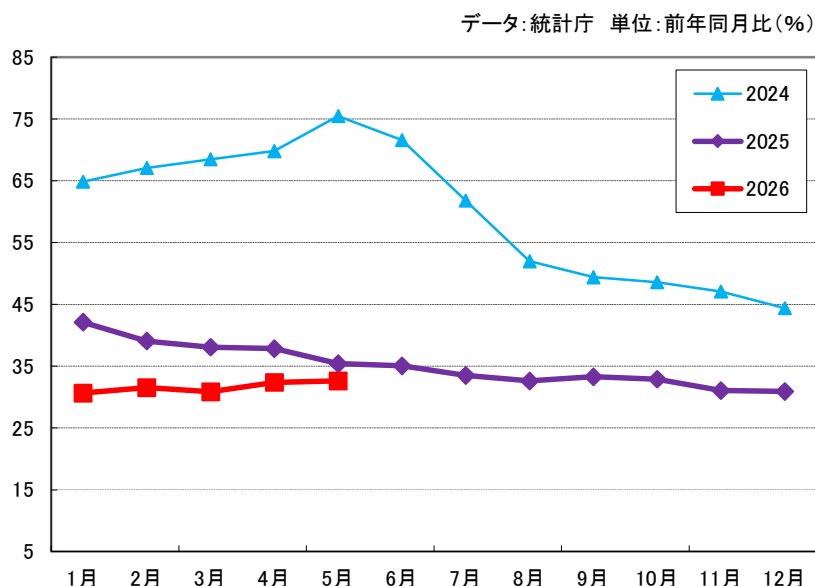
為替(2026年6月)

引き続き中東情勢の見通し悪化による有事のドル買いが進行し、リラは対ドルでリラ安方向となった。対ユーロではほぼ変わらず。月末時点では1ドル=46.56リラ(前月末比2.02%安)、1ユーロ=53.10リラ(前月末比0.05%高)となった。



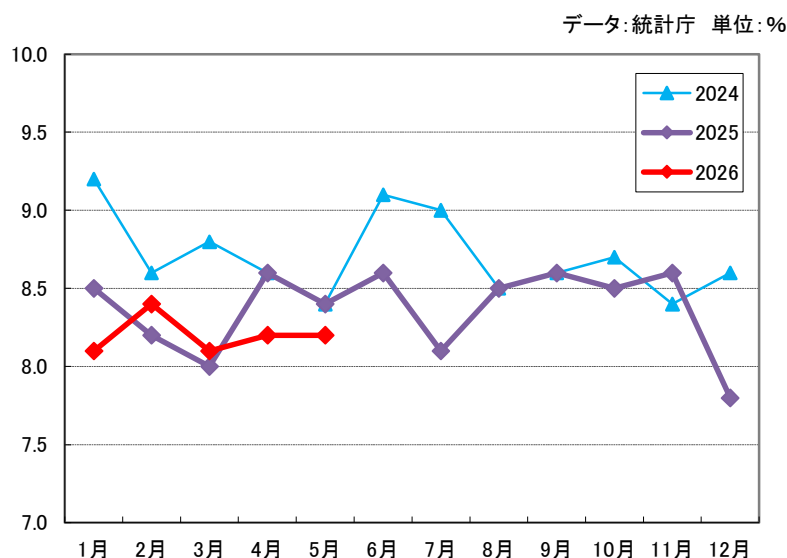
消費者物価上昇率(2026年5月)

(1) 5月の消費者物価は前年同月比32.61%増、前月比1.71%増。
(2) 項目別にみると、前年同月比では教育が50.06%増となり最も上昇した。前月比では、衣類及び履物が11.29%増となり最も上昇した。



失業率(2026年5月)

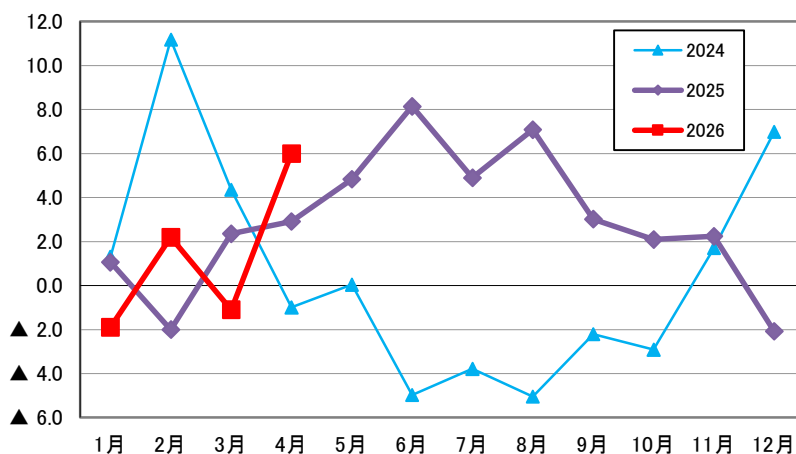
(1) 5月の失業率(季節調整後)は8.2%となり、前月から変わらず。
(2) 労働力人口は3,534.5万人、就労者数は3,246.3万人、失業者数は288.3万人。
(3) 男性の失業率は7.0%、女性は10.5%。若年層(15-24歳)の失業率は14.8%。



鉱工業生産(2026年4月)

(1)4月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)6.0%増。
(2)分野別では、資本財が前年同月比19.3%増、中間財が同5.1%増、耐久消費財が同1.6%増となった。

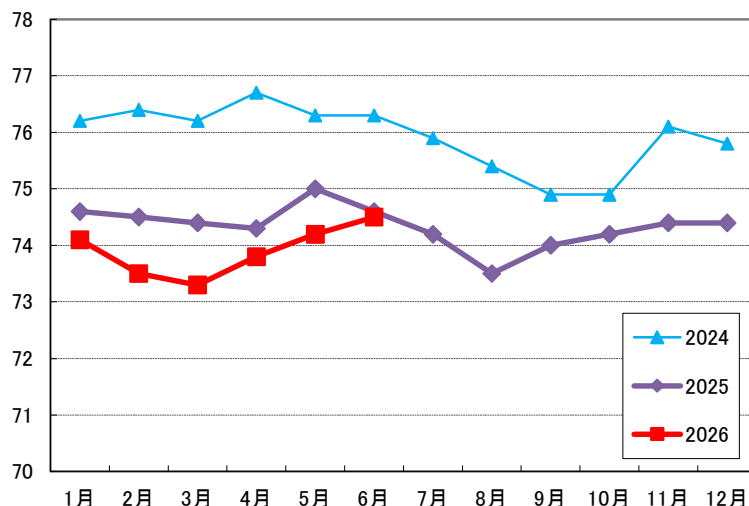
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(2026年6月)

(1)6月の設備稼働率は74.5%となり、前月から0.3ポイント上昇、前年同月から0.1ポイント低下。
(2)分野別では、紙及び紙製品製造業(83.96%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(59.69%)が最も低い稼働率であった。

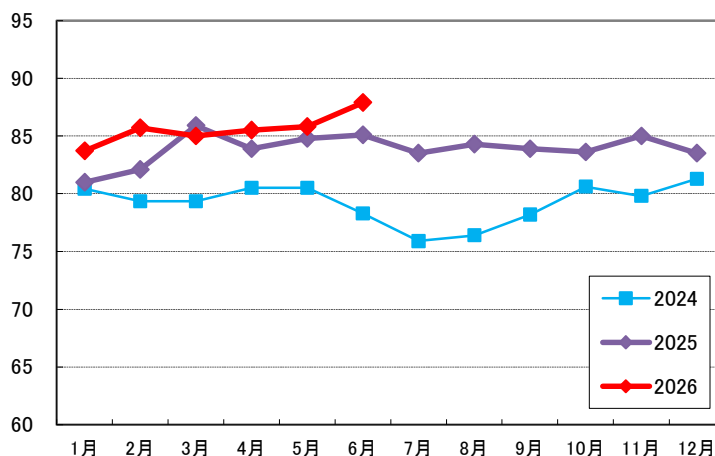
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(2026年6月)

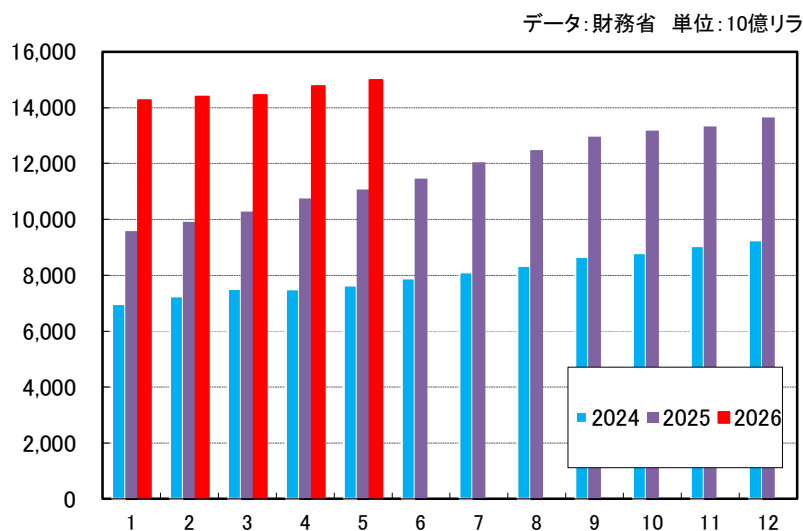
(1)6月の消費者信頼感指数(季節調整値)87.9ポイントとなり、前月から2.1ポイント上昇。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。

データ:統計庁 単位:ポイント



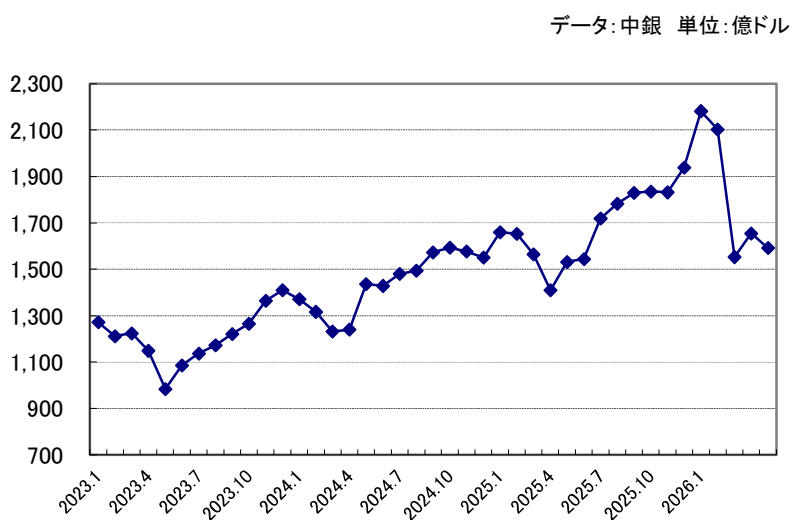
中央政府債務残高(2026年5月)

(1)5月末時点での中央政府債務残高は14兆9,891億リラとなり、前年同月比35.5%増、前月比1.5%増となった。
 (2)また、国内債務比率は60.0%、自国通貨債務比率は48.1%(2025年末は46.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



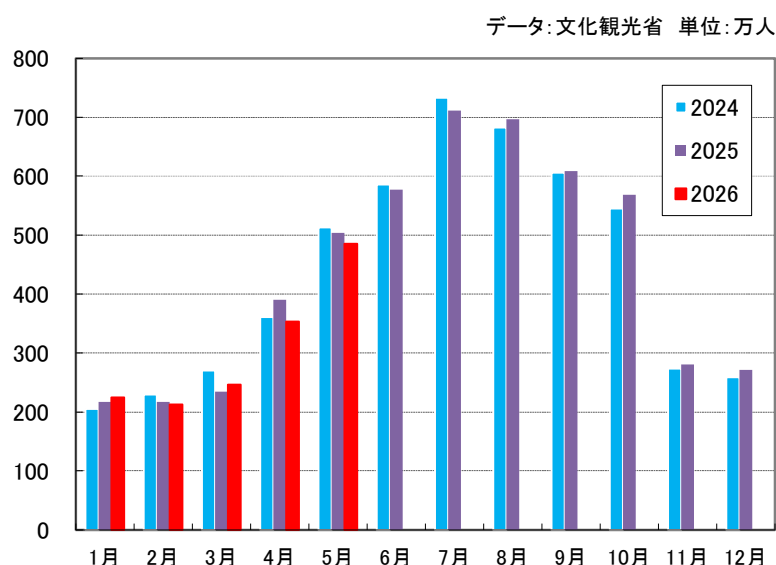
外貨準備高(2026年5月)

(1)5月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,592.3億ドルとなった。
 (2)前月から62.5億ドル減少した。



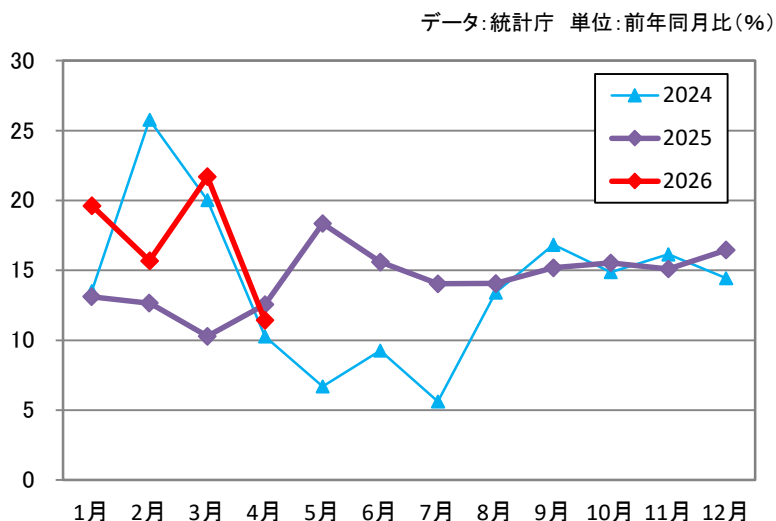
外国人訪問者数(2026年5月)

(1)5月の外国人訪問者数は4,856,862人で、前年同月比3.6%減。日本からの訪問者は10,861人であった(前年同月13,853人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、701,123人で全体の14.4%を占め、以下ドイツ(686,194人)、英国(493,376人)となっている。



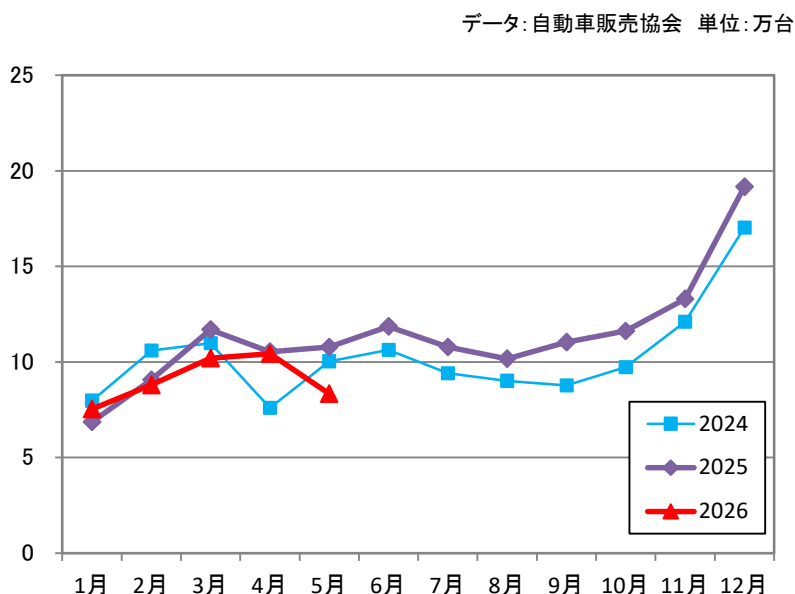
小売売上高(2026年4月)

4月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)11.4%増、前月比(季節及び日数調整後)1.7%減。



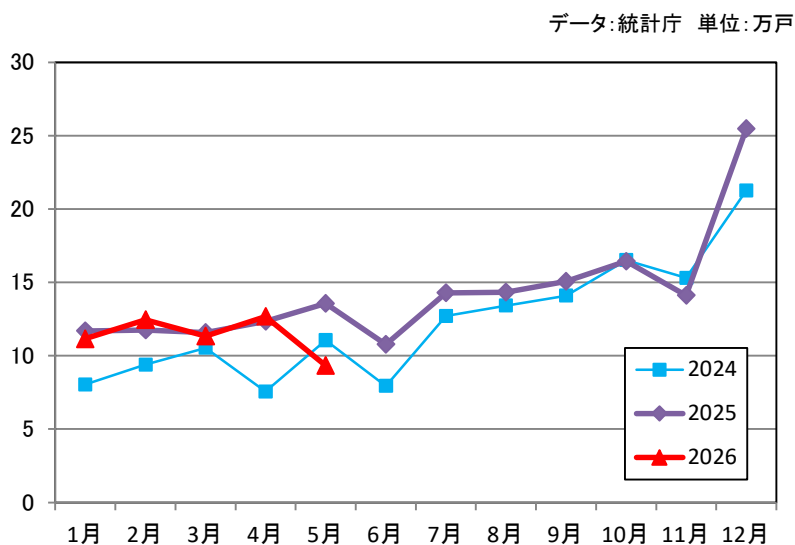
新車販売台数(2026年5月)

(1)5月の新車販売台数は83,442台で前年同月比22.6%減。
(2)5月の内訳は乗用車が65,386台(前年同月比23.2%減)、小型商用車が18,056台(同20.1%減)となった。



住宅販売戸数(2026年5月)

(1)5月の住宅販売戸数は93,333戸で前年同月比31.2%減となった。
(2)新築が30,196戸(前年同月比27.9%減)、中古が63,137戸(同32.7%減)。
(3)住宅ローンでの購入は19,754戸(前年同月比2.8%減)、その他が73,579戸(同36.2%減)。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。